

こちら奈良市東部出張所です

8月 No.84



目次	P.1	東部出張所からのお知らせ
	P.2	協力隊活動報告
	P.3	協力隊活動報告
	P.4	水害への備え
		スマート農業機器等の助成について

編集・発行 (毎月1日発行)
奈良市 東部出張所 (奈良市大柳生町4735)
TEL : 0742-93-0001/ FAX : 0742-93-0061
E-mail : toubr@city.nara.lg.jp

こんにちは。東部出張所所長補佐の岡田康彦です。
梅雨が終わり、晴れて暑い日が多く、海や川、山でのレジャー最盛期となりますが、注意していただきたいことがありますので少し書かせていただきます。

8月は、短時間で狭い範囲に猛烈に降る大雨「ゲリラ豪雨」が発生しやすい時期でもあります。ゲリラ豪雨には、浸水害や土砂災害のリスクをはじめ、雷や竜巻による災害のリスクもあり、命を落とすこともあります。そこで以下の点に注意しましょう。①危険な場所に近づかない。②地下にいる場合は速やかに地上に移動。③普段流れの遅い河川や用水路でも、一気に水かさが増したり、流れが速くなったりしますので絶対に近づかないようお願いいたします。

まだまだ暑い日が続きますが、熱中症に注意してください。軽症と思われたものが急速に重症化し、時には死にいたることもあります。屋外、屋内問わず発生が多く報告されています。特に屋外で長時間過ごす時は帽子をかぶり、こまめな水分摂取、屋内であっても水分摂取を忘れないようにしましょう。

最後になりましたが、地域おこし協力隊として3年間活動行ってもらった若井隊員が今月末で任期満了し退任となります。期間中地域の皆さまにはご指導、ご協力頂きありがとうございました。皆さまが安全で安心して暮らせるようまた、地域課題の解決に向け新たに協力隊員も募集しておりますので引き続きご協力のほどよろしくお願いたします。

東部出張所からのお知らせ

奈良さとやまSUMMER キャンペーン開催中

8/17(土)夏休み宿題フェスタ開催!

東部出張所では小学生を対象に「奈良さとやまSUMMERキャンペーン」を7月20日(土)～8月31日(土)まで開催しています。8/17(土)には体験ブースを集めた「夏休み宿題フェスタ2024」を開催します。工作などの体験のほか、会場ではドリンクやジェラートの販売もあります。ご家族で楽しめるこちらのイベントにぜひお越しください。

場所 満天ひろば (奈良市水間町3031)

日時 8月17日(土)10:00～16:00

共催 田原やま里博物館



夏休み宿題フェスタ会場図



Tobu高原マルシェ2024 in ならファミリー



7/20(土)、21(日)に開催しました

東部地域の農産物直売所が、市街地で地産産野菜等を出張販売する「Tobu高原マルシェ」がならファミリー1Fらぐだ広場に開催されました。
7/20は田原やま里市場、7/21は阪南直売所コスモスつげの畑高原屋が出演しました。
両日ともたくさんの方にご来場いただき、東部地域の産品のPRを行いました。
次回は8/24(土)、25(日)の二日間にて開催します。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

詳細はこちら

【8月の開催】
8/24(土)・25(日)
10:00～13:00ごろ(売切れ次第終了)



水害への備え

8月は、突発的に起こる局地的な大雨や、台風などによる水害が発生しやすい時期でもあります。大雨や洪水が発生しやすい時期には、普段からの備えや心構えが大切となります。そのポイントについてご紹介します。

①ハザードマップで家や地域の水害リスクを知る

自分が住む家やその周辺にどのような水害のリスクがあるかを知ることが必要です。
ハザードマップは、大雨によって河川が氾濫した場合に想定される浸水区域と、土砂災害のおそれのある箇所、避難施設などの防災情報を地図に示したものです。ハザードマップを見ることで、自宅や周辺にどの程度の危険があるかを知ることが出来ますので、自宅でのような備えが必要か準備することが出来ます。
奈良市地図情報公開サイトで「奈良市ハザードマップ」の情報を確認することができますので、ご活用ください。

奈良市地図情報公開サイト
(防災・ハザードマップ)



②避難場所、避難経路を事前に確認する

安全に避難するために、どこに、どの道を通って避難すればよいが事前に確認しておくことが重要です。避難経路の途中に、氾濫する恐れのある箇所などがないか、ハザードマップで情報を確認することが大切です。

③非常時の持ち出し品を事前に準備する

避難が必要になったときに備えて、貴重品や食品などを非常用持ち出し袋に入れて準備し、すぐに持ち出せるようにしましょう。

④家族が離れているときの確認方法を決めておく

家族が離れているときに避難する場合がありますので、お互いの安否確認方法を決めておきましょう。

気象庁は、土砂災害や大雨による災害発生危険度の高まりを地図上で確認できる「キキクル」を提供しています。災害発生危険度を察知し、安全に避難するために、こちらの情報をご活用ください。



農業に従事している方へのお知らせ

スマート農業機器等の導入費用の一部を助成します!

農業経営の改善のため市内農業者に対して、スマート農業機器等の導入経費の一部を補助します。申請には条件があるため右記へお問い合わせください。



詳しくはHPへ→



事前相談の受付は8月9日(金)までです。

奈良市東部の有害鳥獣対策を考えよう!

Vol.3

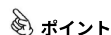
令和6年3月に「奈良市東部 有害鳥獣対策セミナー」を実施しました。このコーナーでは、セミナー内で講師の先生よりお聞きした内容を紹介させていただきます。
今月号では侵入防止のための「防護柵」についてのポイントをお伝えします。



防護柵を有効に使うための基本3原則

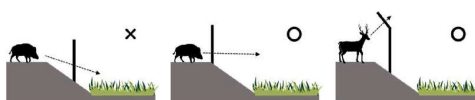
①「飛び越せる」「潜り込める」と思わせない

加害動物の目線に立ち、電気柵の段数や設置場所の検討、設置高や忍び返しなどで調整する。



ポイント

- ・野生動物の視線から農作物が隠れる位置に設置
- ・忍び返しなどで飛び越しをあきらめさせる
- ・地面との隙間を作らない
- ・出来るだけ斜面に設置しない
- ・トタンなどで目隠しすることも有効



斜面の途中に柵を設置すると、野生動物の視線の中に農作物が入ってしまう。また、柵の位置が低くなり、野生動物が飛び越えやすくなる。平らな場所に設置することで、視線を遮ることができる。忍び返しを設置すると飛び越しをあきらめさせることができる。

②農作物の味を覚えさせない

「やられてから柵を張る」では遅い。動物は一度味をしめると執拗に侵入を試みるようになる。



ポイント

- ・一度味をしめると野生動物はあきらめない
- ・執着心が強いと防護柵で止めきれなくなる

③しびれない電気柵は設置しない

電気柵は、学習条件付けによる心理柵。「電気が流れない場合がある」と動物が学習すると、効果を落とす。



ポイント

- ・電気が流れていることを野生動物に毎回確認させる
- ・しびれないことを学習すると柵を乗り越えてくる
- ・柵線を確認させるために目線の位置に設置する
- ・効果を持続させるためには保守点検の頻度を高める
→月1回以上行くと効果が持続する



活動報告



老春塾の様子



卒業イベントの様子



若井 隊員

退任のご挨拶

皆さまこんにちは。

令和3年9月に奈良市東部地域おこし協力隊に着任してから、令和6年8月末までの3年間の任期を満了し、無事に卒業を迎えることが出来ました。

地域の皆さまにおかれましては、任期中大変お世話になりましたこと感謝申し上げます。誠にありがとうございました。特に私が住まいをお借りしている柳生地域の皆さまには、この地での暮らしを温かく見守っていただきまして、感謝しております。

活動の集大成として、6月28日に田原公民館で開かれた老春塾、7月13日に柳生にある桜鏡つなぎ亭での卒業イベントにて、3年間の地域おこし協力隊活動の報告会をさせていただきました。空き家対策・移住促進活動・空家の活用実践活動・市街化調整区域の勉強会の内容や、移動茶室「若竹庵」、「グロウデザイン/一級建築士事務所」での活動についてお話しさせていただきました。2か所の発表では、約80名の皆さまへ報告ができました。

楽しい事もしんどい事もありましたが、花束をいただいた時には、少し熱い感情が込み上げてきました。ご参加いただきましてありがとうございました。

これまで、空き家の活用実践活動の主戦場であった「柳生の桜鏡つなぎ亭」には、3年間でのべ325名の方にお越しいただき、年間で100名を超える方が関わってくださったことになります。

卒業後もこの桜鏡つなぎ亭を「グロウデザイン一級建築士事務所ならアトリエ」「チームつなぎ-継-（移動茶室若竹庵）の事務局」として活用していく予定ですので、引き続きよろしくお願いいたします。

私と同期の地域おこし協力隊の寺尾さんは、新型コロナウイルス感染症の影響で、活動できなかった時期を延長し、来年3月まで活動を続けられる予定です。地域の皆さまにおかれましては、引き続き温かい目で見守っていただければ幸いです。

3年間お世話になりまして、本当にありがとうございました。

寺尾 隊員

若井さん、卒業おめでとうございます！
～「さよなら」じゃない、「ありがとう」と伝えたい～

2021年9月に、第3期奈良市東部地域おこし協力隊として若井さんと寺尾が任用され、これまで活動してまいりましたが、いよいよ卒業の時がやってきました。

若井さんとは不思議なご縁で、協力隊同期として奈良にきました。協力隊にならなかったら絶対出会えなかった一級建築士さん。

活動分野は違いましたが、3年間大変お世話になりました。

私の活動のサポートもたくさんしてくださいました。「オンライン介護予防教室」に出演してくださったり、「身体メンテナンス」スタッフとしても活動してくださいました。感謝しかありません。

協力隊の卒業を見送るのは初めてです。寂しいですが、同期としてまたお互いに近況報告できたらと思っています。

若井さんの更なるご活躍をお祈りしております。

8月の活動予定 (7/15現在)

オンライン介護予防教室（毎週木曜日開催）
13:30～14:30

8/10田原と8/14月ヶ瀬の夏祭りにも参加させていただきます。今年も大好きな盆踊りを一緒に踊るのを楽しみにしています！

畑 隊員

暑さに負けず！！

お日様は暑いですが、さすが大和高原！日陰や朝晩は涼しいですね。

地域おこし協力隊の業務で地域の方々と出逢いつつ、総務省主催の農村プロデューサー養成講座を受けたり、奈良県で活動している地域おこし協力隊の懇親会に参加したり、里山保全の講座を受けたりして過ごしています。

また、「奈良さとやまSUMMERキャンペーン夏休みの宿題大作戦！」が開催中です。東部地域や市街地へパンフレットの配布や、地域おこし協力隊のSNSにて日々情報発信を行っています。キャンペーンについての詳細は、WEBサイトで「奈良さとやまSUMMERキャンペーン」と検索いただくか、公民館や郵便局に置かせていただいているパンフレットをご覧ください。

これから、東部地域の里山ならではの景観、市街地ではできない植物の観察や収穫体験、木陰散策、キャンプファイヤー、竹の利活用、などなど…地域の魅力を大切に後世へと伝えていく活動をしていきたいです！

最後に、若井さんとは5か月と短い期間でしたが大変お世話になりました。これからのご活躍心よりお祈り申し上げます。

8月の活動予定

- ・地域のイベントへの参加、取材
- ・SNS配信
- ・農村プロデューサー養成講座受講
- ・さとやま事業の推進



LINEアカウント



地域おこし協力隊
Instagram



地域おこし協力隊
Facebook

私とお話ししていただける個人・グループの方ご連絡をお待ちしています。右の畑のLINEアカウントへご連絡ください。